

# 2 市場地区

## 1. 地区概況

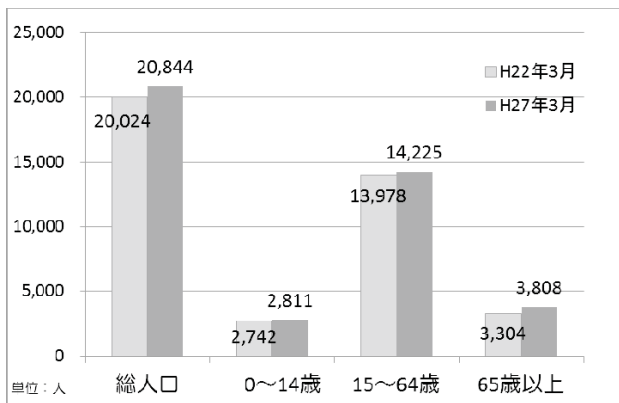
鶴見川と川崎市域に挟まれた場所に位置し、平坦な土地であるため、徒歩や自転車等での移動がしやすく、川崎駅周辺も生活圏となっています。最寄り駅は鶴見市場駅で、鶴見駅からは少し離れていますが、バス利用ができます。

地区内に旧東海道が通っており、史跡が多く点在しています。箱根駅伝の中継所があることでも有名です。



## 2. 市場地区の人口（年齢区分別）

	H22年3月 (年齢区分別比率)	H27年3月 (年齢区分別比率)	【参考】H27年3月 (鶴見区全体の年齢区分別比率)
総人口	20,024人 (100.0%)	20,844人 (100.0%)	(100.0%)
0～14歳	2,742人 (13.7%)	2,811人 (13.5%)	(13.3%)
15～64歳	13,978人 (69.8%)	14,225人 (68.2%)	(67.0%)
65歳以上	3,304人 (16.5%)	3,808人 (18.3%)	(19.7%)



- ・5年前に比べると、総人口が820人増えています。
- ・0～14歳、15～64歳人口は微増ですが、65歳以上の人口は504人増、約15%の増加がみられ、高齢化が進んできています。

※地区別人口については、集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。 出典「横浜市統計ポータルサイト」

## 3. 第2期計画

### 協働の輪が広がる市場地区

～全ての人が住み慣れた地域でいつまでも、心豊かに暮らせる、支えあいの町づくり！～

#### 取り組み

これまでの活動を充実させるとともに、町の緑化、CO2削減のためのエコ活動など新たな活動を通して、地域の方々の様々な交流や絆づくりに取り組みます。



## 4. 第2期計画の主な取組内容（22年度～27年度）

### ● 22年度

新しくこんな活動が始まりました！！

#### 『ママさんのための保育付きソフトウェアロビ教室』 『グリーンカーテン』

地域の方との  
交流から身近な  
相談相手ができ  
ました！

世代間交流が  
生まれているね！



### ● 23年度

地区フォーラムでは、NHK『難問解決！ご近所の底力』元チーフディレクターの黒川 敬氏の講演会を開催。テーマは、「**みんな つながる 地域のはなし**」  
和やかな雰囲気の中、番組のVTRで難問解決に取り組んだ身近な事例を紹介。地域の皆さんからも当事者になったつもりで活発な意見が出されました。

講演会の様子

地域の難問解決のために3つの大切なこと、それは…

- ① 『ピンチはチャンス（ピンチ、それはニーズ）』
- ② 『全員賛成はやめよう（新しいことを行うのはリスクがつきもの。やれる人がやろう）』
- ③ 『人材はそばにいる（何か煮詰まった時はいつも会ってない人に会ってみよう）』



### ● 24年度

元気づくりステーション事業として『**ゆうづる倶楽部**』が大和町で始まりました。手芸、囲碁、書道などの活動をしながら楽しく交流できる居場所です♪  
フォーラムでは、①**担い手の不足**②**退職した人が地域デビュー**  
**できる仕掛け**③**新しい住民の地域活動への参加**について話し合いました。



### ● 25年度 『リバーサイド・ガーデン復活作戦』開始！！

24年12月の地区フォーラムで課題として挙げられた「**新たな担い手の発掘**」に向け、地域参加のきっかけとなる取組として、5年前には「鶴見区カレンダー」の写真にもなった「リバーサイド・ガーデン」の花壇づくりに地域ぐるみで取り組み開始！



### ● 26年度 広がる！地域住民の“交流の輪”“見守り支え合い”



★市場地区の名所 リバーサイドガーデンは花盛り  
各町会代表のボランティア（愛称：フラワーズ）の皆様が丹精込めて手入れをした結果、リバーサイド・ガーデンは 四季折々の風景が楽しめる地域の散歩道に生まれ変わりました。

#### ★災害時要援護者見守り活動の取り組みが始まりました

平成26年6月より平安町でモデル事業が開始されました。これまでは同意者のみ要援護者名簿に登載が可能（約3割）でしたが、拒否者以外は登載することとして、登載率を約8割に向上させました。また、普段の見守りを民生委員と**研修を受けた地域住民である“見守り訪問員”**が行う体制とし、迅速な避難に結び付ける仕組みを整備しました。

## 5. 第3期計画策定に向けて



**市場地区フォーラム開催** 平成27年2月20日(金)

- ①第2期地区計画に基づく地区活動の報告・成果の発表
- ②グループワーク

【これまでの活動を振り返って、これからの市場を考えよう】  
をテーマに話し合い、各グループで第3期計画の策定に向けたキャッチコピーを作成。



見守り・声掛け・世代間交流・世代交代・ふれあい・情報・健康づくり

がキーワードとして挙がった。



市場地区フォーラムであがったキャッチコピーのなかから共通するキーワードを整理し、第3期計画のキャッチフレーズ(案)を作成。市場地区ワークショップにて提案をしていくこととなる。



**市場地区ワークショップ開催** 平成27年6月15日(月)

～第3期市場地区計画の策定に向けて～

- ①2月に開催された地区フォーラムの振り返り
- ②グループワーク

【第3期地区計画の目標や具体的取組(案)に反映させる意見・キーワード】をテーマに話し合い、地域づくりに向けて充実させる必要性のあるものを3項目に分類することができた。



- (1) 交流・つながり・互いの理解
- (2) 人材発掘・きっかけ・環境づくり
- (3) 見守り・支えあい

③地区フォーラムに基づき、事務局で精査したキャッチコピー(案)の確認と修正し、  
キャッチフレーズの候補を決定。

- (1) 元気でいよう!健康イチバン市場地区
- (2) 子どもからお年寄り 誰もがふれあえる市場地区
- (3) 声かけて 笑顔でつながる 市場地区
- (4) 誰にでも情報と気持ちが届く市場地区
- (5) 世代こえ 見守り・声かけ 市場地区



多くの地域住民の声を反映させるため、住民投票にてキャッチフレーズを決定することとなる。



**オール市場 ゆうづる夏祭り** 平成27年8月29日(土)

市場地区第3期地域計画キャッチフレーズ決定!!



## 6. 第3期計画策定（28年度～32年度）



## 声かけて 笑顔でつながる 市場地区

## 目標1

高齢者から子どもまで世代間を超えた交流により、互いの理解を深めます。

## ■現状の良いところ・課題

隣近所の付き合いが希薄化し交流もないところがありますが、お祭りなどの地区行事を通じた近隣との関わりができています。

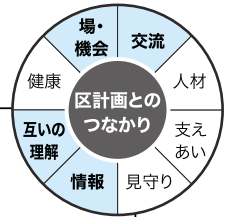
小学校登下校時の見守り活動により、子どもとのつながりが強くなっています。

## ■5年間の具体的な取組

◎お花見、ウォーキングなどの行事を通して地区のつながりを強めていきます。

◎地域の中でのあいさつ、声掛けにより、近隣の関わりを広げていきます。

◎運動会、オール市場ゆうづる夏祭りなど、町会や団体の垣根を超えた交流づくりを進めます。



## 目標2

防災・地球環境・地域の祭りなどを通じて、次世代の担い手を発掘します。

## ■現状の良いところ・課題

町内会と社協がしっかりまとまって活動しています。

年配者が地区の活動に積極的に参加しています。

行事の参加者から、運営スタッフに加わる人が出てきています。

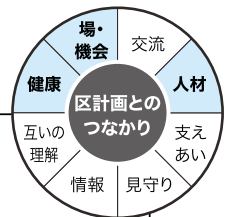
## ■5年間の具体的な取組

◎防災訓練・社会を明るくする運動パレードなどへ参加する世代を広げていきます。

◎リバーサイドガーデンなど世代を超えて参加できる行事を充実させます。

◎オール市場ゆうづる夏祭り、盆踊り、納涼祭を開催し、地区の活動に参加する機会を充実させます。

◎地区内の小・中学校と連携・支援を深める機会を充実させます。



## 目標3

地域の中で見守り、支え合いの活動を推進します。

## ■現状の良いところ・課題

下校時の見守り活動が行われています。

民生委員や訪問員を中心に高齢者等の見守り活動が行われています。

## ■5年間の具体的な取組

◎下校時の子どもの見守り活動への参加者を増やします。

◎近隣者等による高齢者等の安否確認体制を充実させます。

◎資源集団回収活動を進めていきます。

